

町会報

えひめ

2016

8

Vol.89

発行所／愛媛県町村会・愛媛県町村議会議長会
〒790-0001 松山市一番町4丁目1番地2
TEL089-941-7598(代表)
FAX089-945-1318



鬼北町「成川溪谷」

足摺宇和海国立公園内にある成川溪谷は、鬼ヶ城連峰などから流れ出る清流によって、約3kmに渡る溪谷美を織りなしています。春はお花見、夏は新緑と涼を感じ、秋は紅葉狩り、そして冬は雪見と、四季折々にさまざまな表情を楽しむことができます。

Contents

9 町長と地域の未来を支える世代との交流会

2～3

随想 白石勝也前松前町長 4

総合事務組合だより 5

四国四県町村会・議長会合同事務局長会議 6

町(市)職員外国語研修会 6

四国地区町村議会議長会会長会 7

一筆／8月の行事／編集後記 8

こんな町にしてほしい！

『9町長と地域の未来をささえる世代との交流会』



「9町長と地域の未来をささえる 世代との交流会」日程

平成28年 8月17日(水) 15:00～
松山全日空ホテル 南館 2階
サファイアルーム

愛媛県町村会

1. 開 会 15:00～
2. あいさつ
愛媛県町村会 会長 上村 俊之
3. 本日の日程等について説明
4. 【第1部】町長を囲んで意見交換 15:15～
5. 【第2部】参加者全員での交流会 17:15～
6. 閉会あいさつ 19:15

こんにち地方では、少子高齢化の進展により生産人口年齢が減少しています。これから将来に向けて、地方が発展していくためには、地域の未来をささえる世代が活躍していくことがもつとも重要です。このため愛媛県町村会では、これから若い世代が安心して働き、将来に夢や希望をもてるような魅力あふれる地方を創出し、それぞれの地域で生活、結婚、出産、子育てができるような地域づくりを目指すそうと、8月17日(水)松山全日空ホテルで「県内9町長と地域の未来をささえる世代との交流会」を、昨年度に引き続き開催しました。

開催日程は別掲のとおりで、二部構成。一部では町の将来等に関して町長と個別に意見交換を行ったほか、二部では、席替えをしながら参加者全員での交流会。県内各町から約75名の参加を得て、終始、和やかな雰囲気での笑いの絶えない交流会となりました。



甲岡幹事



上村会長の開会あいさつ

「魅力ある町にしていくために」と若者と9町長が話し合いました



上村上島町長



高橋久万高原副町長



岡本松前町長



佐川砥部町長



稲本内子町長



森口伊方副町長



阪本松野町長



甲岡鬼北町長



清水愛南町長

随 想



前松前町長
前愛媛県町村会長
白石 勝也

振り返れば夏の終わり

夏が暑いのは当たり前だが、今年の夏は異常だった。でも暦が九月になると朝夕は涼しくなり、秋の訪れを告げる虫の音も、日に日に賑やかになってきた。また、今年は少ないと言われていた台風も八月末から次々と発生、これまで上陸することのあまりなかった東北や北海道を襲い、大雨や洪水の被害が出た。

昨年十二月に松前町長を退任し、年明けて間もなく妻が亡くなり、思いもよらぬ一人だけの生活になった。

この間、一日一日は時間が止まったように長く思えたのに、気が付くと町長を退任して間もなく一年になろうとしている。

往時茫茫50年

名刺とともに

私が初めて名刺を持ったのは昭和三十九年で、肩書きは「NHK記者」。この名刺で二十年間取材を続け、情報（ニュースのネタ）を取るため、手当たり次第、会う人ごとに名刺を渡した。現場を離れてからは、役職の付いた名刺を自己紹介として渡してきた。NHKを退職して町長選挙に立候補を決意してからは、私の簡単な履歴

と顔写真入りの名刺を町内外の人たちに配った。名刺の効果があつたかどうかは分からないが、おかげで当選することができた。

町長在任中の名刺は、松前町長で、その後、県町村会長、更に全国町村会副会長という肩書きが加わり、名刺を渡す範囲が広がっていった。

また、町外の人には松前（まさき）が読みにくいいため、町のロゴマーク入りのカラーの名刺も作った。

町長退任後、私は名刺を持っていない。色々な会合に出席する度に、相手が名刺をくれるとつい手がポケットにいく癖が出て、一人苦笑いをした。でも日が経つにつれ、その癖もなくなり、無職になったことを実感する。



ふと庭先に妻を思う

我が家の小さい庭には四季それぞれに花が咲き、部屋から眺めていると心が癒され気持ち落ち着いたものだ。



しかし、今年は春のチューリップも夏のひまわりもなかった。バラは咲いたが、いつもの美しさはなかった。まるで育ててくれた主の死を知っているかのような淋しい花だった。私自身まだ花を育てる気分になれない。でも、伸び放題の草はむしっておかないと妻に申し訳ない草むしりをした。ところが根っこから引き抜いたつもりが、僅か一週間か十日で一面が草の庭に戻っている。石の下やコンクリートの割れ目からも草が芽を出す。まさに草魂を感じさせる草の強さである。ふと中学時代に、失敗するたびにくよくよする私に恩師が教えてくれた詞を思い出した。

くずの花

ふみしだかれて色直し

この山道をゆきし人あり…

恩師はこの詞で、小さなことでくじけてはいけない、大きな気持ちを持ちなさいと教えてくれた。でも、今の私に妻の死を乗り越えて一人で生きていくだけの自信はまだ持てない。

心からのお礼と感謝

県町村会から、随想を頼まれたのは昨年の暮れでしたのに、妻の死という予期せぬ事態に直面し、執筆が遅れたことをお詫びします。

会長を十年余りやって一番の想い出は、九人の町長が集まる町長会を、全ての町で二回ずつ開催できたことです。そして各々の町の特産品や素晴らしい景観、施設などを知ることができました。これからも各々が町の特徴・特色を、もっともつとアピールして、県内だけでなく広く全国から、特に都市部から人を呼び込む方策を打ち出していきたいと思います。

町長はじめ、職員の皆様には大変お世話になりました。また、十年間面倒をおかけした県町村会事務局の皆さんに、心より感謝申し上げます。

県下九町と県町村会のますますの御発展をお祈りし、私の最後の随想とさせていただきます。ありがとうございます。



9町長しなみを走る！（平成25年9月7日）

総合事務組合だより

平成28年第2回愛媛県市町総合事務組合議会定例会は8月10日に開催され、平成27年度決算など4議案を上程し、いずれも承認又は原案のとおり可決された。決算の概要は、次のとおり。

【平成27年度 愛媛県市町総合事務組合一般会計歳入歳出決算】

(歳入)		(単位：円)
款	項	金 額
1 負担金		6,023,132,866
	1 退職手当負担金	5,675,170,924
	2 消防負担金	298,108,242
	3 交通災害共済掛金	41,539,700
	4 自治会館負担金	8,050,000
	5 公務災害負担金	264,000
2 使用料		3,600,000
	1 会館使用料	3,600,000
3 消防基金等支出金		268,832,947
	1 消防基金支出金	268,832,947
	2 議員連合会支出金	0
4 財産収入		6,905,389
	1 財産運用収入	6,905,389
5 繰入金		3,700,000,000
	1 基金繰入金	3,700,000,000
6 繰越金		831,697,188
	1 繰越金	831,697,188
7 諸収入		53,933,892
	1 預金利子	483,974
	2 団体支出金	49,906,557
	3 雑入	3,543,361
歳 入 合 計		10,888,102,282

(歳出)		(単位：円)
款	項	金 額
1 議会費		111,890
	1 議会費	111,890
2 総務費		99,089,679
	1 総務管理費	99,077,079
	2 監査委員費	12,600
	3 認定委員会費	0
	4 審査会費	0
3 事業費		4,901,518,918
	1 退職手当事業費	4,324,191,540
	2 消防事業費	549,311,126
	3 交通災害事業費	23,071,436
	4 自治会館事業費	4,540,648
	5 議員公務災害事業費	404,168
4 公債費		0
	1 公債費	0
5 諸支出金		4,935,562,000
	1 基金積立金	4,935,562,000
6 予備費		0
	1 予備費	0
歳 出 合 計		9,936,282,487

【基金積立金会計】

(単位：円)

積 立 金 種 別	金 額
退職手当基金積立金	6,371,007,000
消防賞じゅつ金等基金積立金	167,184,000
交通災害見舞金基金積立金	190,863,000
会館財政調整基金積立金	113,306,000
議員公務災害補償基金積立金	5,185,000
合 計	6,847,545,000

【翌年度繰越金内訳】

(単位：円)

積 立 金 種 別	金 額
退職手当繰越金	933,737,475
消防繰越金	3,600,829
交通災害繰越金	11,036,040
自治会館繰越金	3,136,349
公務災害繰越金	309,102
合 計	951,819,795

【平成27年度 各事業における支払の状況】

退職手当

(単位：円)

種 別	人 数	金 額
特別職	8	48,789,180
一般職 (275名)	普通退職	63
	勤奨退職	19
	定年退職	189
	その他退職	4
合 計	283	4,319,720,829

消 防

(単位：円)

種 別	人 数	金 額
団員災害補償費	8	892,747
障害・遺族補償年金	3	4,795,200
従事者災害補償費	0	0
退職報償金	599	263,145,000
特別退職報償金	5	174,200
合 計	615	269,007,147

交通災害

(単位：円)

種 別	人 数	金 額
災害見舞金	221	18,710,000

議員公務災害

(単位：円)

種 別	人 数	金 額
災害報償費	0	0

平成28年度四国四県町村長・議長大会開催要綱

1. 名 称 四国四県町村長・議長大会
2. 目 的 四国の57の町村長・議長が一堂に会し、議会と執行部の立場を超えて「元氣溢れる地域をつくる」との強い信念のもと、町村の抱える重要課題について研修・意見交換・審議し、その実現のためお互いに連携を密にしながら、総力を結集して行動し、多様で個性豊かな町村自治の振興と住民福祉の向上を期する。
3. 主 催 四国四県町村会
四国四県町村議会議長会
4. 日 程 平成28年 9月29日(木)
(1) 大 会 14時00分～15時25分
(2) 記念講演
① 15時40分～16時40分
演題「四国の観光戦略について」
伊予鉄道株式会社 代表取締役社長
清 水 一 郎 氏
② 16時50分～17時20分
演題「サイクリングアイランド四国を目指して」
愛媛県知事 中 村 時 広 氏
5. 開催場所 (3) 意見交換会 17時40分～19時40分
松山全日空ホテル 南館4階 エメラルドルーム
住 所：愛媛県松山市一番町3-2-1
6. 出席者 四国四県町村長 全員
四国四県町村議会議長 全員
7. 大会次第 (1) 開 会 (2) 国歌斉唱
(3) あいさつ (4) 宣 言
(5) 来賓祝辞
愛媛県知事、愛媛県議会議長、全国町村会長、
全国町村議会議長会長
(6) 議長選出
(7) 議 事 各県提出議題審議
(8) 決議・緊急決議 (9) 共同アピール
(10) 実行運動方法協議 (11) 閉 会
8. 意見交換会 (1) 開 会 (2) あいさつ (3) 乾 杯
(4) 懇 談 (5) ガンパローコール (6) 閉 会

四国四県町村会・町村議会議長会合同事務局長会議が、8月4日高知県自治会館で開催され、各県事務局長や担当者が出席。「四国四県町村長・議長大会」の開催要綱等を別掲のとおり決定した。

首長と議会は二元代表制の仕組みにあることから、これまで町村会と議長会の要望事項には若干の差異があった。しかし、それぞれの目的は町村行政の進展と住民福祉の向上であり、例えば町村財政の充実強化や

地方分権の進展、さらに道路網の整備促進など、ほとんどが共通している。

こうしたことから、四国57の町村長と議長が一堂に会して、立場を超えて共闘しよう。そして、四国の魅力を内外に広く発信・アピールしようとする狙いのもとに、四国四県輪番で開催しているもの。

今回の大会は、9月29日(木)午後2時から松山市の「全日空ホテル」で、別記の大会要綱のとおり開催される。

四国四県町村長・議長大会に向けて 四国四県町村会・町村議会議長会合同事務局長会議

8 / 4 高知市で開催

【カリキュラム等】

		初 級	講 師	中 級	講 師
Day 1 8月1日(月)	10:10～12:00	自己紹介 挨拶/国籍 質問の仕方 職業	Richard Chise	自己紹介 挨拶/国籍 質問の仕方 職業	Jason
	13:00～15:00	書類の記入 健康	Richard Chise	書類の記入 英語の敬語 健康	Jason
	15:00～16:00	電話の会話	Richard Chise	道案内	Jason
Day 2 8月2日(火)	10:00～12:00	日本の生活 町案内	Richard Chise	日本の生活 町案内	Jason
	13:00～14:00	道案内	Richard Chise	電話の会話 丁寧な表現で 用件を聞く	Jason
	14:00～15:50	イギリスの 文化	Richard Chise	アメリカの 文化	Jason

外国語研修会を開催

(公財)愛媛県市町振興協会

(公財)愛媛県市町振興協会(理事長・青野勝西条市長)は、8月1日・2日の両日、えひめ共済会館で「平成28年度市町職員外国語研修会」を開催した。

これは、今日の国際化の流れに対応し、市町職員が基礎的で、実践的な外国語を習得し、日常業務に資することを目的に開催したもので、各市町から12名の職員が出席した。

研修内容は次のとおり。



議長全国大会に

「四国8の字ネットワーク」と「四国新幹線」を要望

四国地区町村議会議長会会長会

第175回四国地区町村議会議長会会長会が、徳島県当番により、8月25日徳島市の「ホテルクレメント徳島」で、四国4県の会長及び事務局長が出席。本県からは原会長と事務局長が出席した。

会議はまず、地元徳島県の株田会

長及び四国地区会長の森口香川県会長があいさつを述べた後、規約の規定により株田徳島県会長が議長席に着いて、「議事」に入った。

のとおりの議事が進められた。

議 事

1 第60回町村議会議長全国大会に提出する四国地区町村議会議長会の要望事項について

丹香川県事務局長から、資料に基づき説明があり、協議の結果、原案（別掲）のとおり決定した。

2 平成28年度四国四県町村長・議長大会について

柏原愛媛県事務局長から、資料に基づき説明があり、協議の結果、

原案のとおり決定した。

3 第57回四国地区町村議会議長会研修会について

丹香川県事務局長から28年度の研修会の開催概要及びその持ち方について説明があり、協議の結果、原案どおり開催することに決定した。

4 次期四国地区会長会の開催について

次回は、29年3月23日に高知県で開催することに決定した。

第57回四国地区町村議会議長会研修会 日程

と き 平成28年10月13日(木)
ところ レグザムホール小ホール

- 12:30～13:00 受 付
13:00～13:20 開会あいさつ 自治功労者表彰
13:20～14:50 講 演 「人口減少と地方議会のあり方」
講 師 名城大学教授 昇 秀 樹 (のぼる ひでき) 氏
14:50～15:00 休 憩
15:00～16:30 講 演 「もう一度考える地球温暖化とエネルギー問題」
講 師 東京大学教養学部客員准教授 松 本 真由美 (まつもと まゆみ) 氏
16:30～16:35 閉会あいさつ

「四国8の字ネットワーク」並びに「四国新幹線」等公共交通の整備促進について

「四国8の字ネットワーク」は、本州四国連絡高速道路と一体となって、全国的高速道路ネットワークを形成することで、物流をはじめとする様々な経済活動や交流を促進し、四国の活性化に大きな効果をもたらす重要かつ根幹となる社会資本である。

しかしながら、「国土ミッシングリンク」により、高速交通ネットワークの機能が十分形成されていない四国地方は、豊かな自然や多様な地域資源が活かされず、地域経済の発展や観光振興に大きな影響を及ぼしているとともに、過疎化の進行など他の地域との格差が拡大している。

近い将来発生すると予測される南海トラフ地震等の災害時において、迅速な人命救助や緊急支援物資の輸送のためには「命の道」となる「四国8の字ネットワーク」の早期整備は急務であり、また、今後、四国地方が地域の強みを生かし、地域連携によって自立し、災害に強い国土を形成し、住民の安全・安心な暮らしを確保するためにも、高速交通ネットワークを早期に確保することは四国にとって喫緊の課題である。

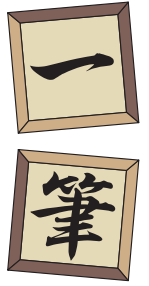
一方、高速道路から市町村道に至る道路の老朽化対策も急務な課題となっている。道路の橋梁は全国で72万橋、トンネルは1万箇所といわれており、なかには老朽化等による危険を指摘されるものも含まれている。今後の震災対応をはじめとする安全・安心な地域社会の構築のために、チェック体制を確保し、必要に応じた対策を早急に講ずる必要がある。

また、昨年には北陸新幹線が開業し、今年3月には北海道新幹線が開業するなど、着々と新幹線の整備が進んでおり、もはや当たり前のインフラとなっている。また、既に開業している新幹線整備は、それぞれの地域の経済活性化や観光の振興に大きく貢献している。しかしながら、四国における新幹線整備は基本計画に留まっている。全国的に、地方創生の取組みが本格的に進められる中、このままでは整備された地域との間で格差が広がり、交流域や交流人口の拡大による経済発展や観光振興などの足かせになるものと強い危機感を抱いている。

よって、国は下記の事項について早急に適切な措置を講じるよう強く要望する。

記

- 1 高速交通ネットワークの整備は、地域の活性化や生活利便性の向上、都市と地域の連携強化、さらには、南海トラフ地震等の災害時の緊急輸送道路の確保や救急患者の輸送時間の短縮などに大きく寄与する重要な事業であるため、経済性や効率性だけを優先することなく、地方の実情を踏まえて行うこと。
- 特に、緊急時に「命の道」となる「四国8の字ネットワーク」は、国の責任においてミッシングリンクの解消及び暫定2車線となっている区間の4車線化も含め早期整備を図ること。
- 2 道路の老朽化対策は待った無しの状況にあるが、市町村は財政、人員、技術等の面で課題があることから、国は、地方が真に必要な道路整備の予算確保に加え、道路インフラの老朽化対策を進めるため、点検、診断、補修等に対する補助制度の拡充等、財政措置を充実するとともに、人材育成等も含めた点検・診断システムの構築を図ること。
- 3 整備が遅れている四国地方の国道、県道、市町村道等については、住民にとって利便性が高く機能的で地域の実情に即した道路網となるよう整備を促進すること。
- 4 高速道路と並ぶ基礎的な社会経済基盤となった新幹線については、四国においても、一日も早い実現に向け、四国の新幹線の整備計画への格上げに向けた国による調査を実施するための平成29年度予算措置を講じること。



超猛暑と熱闘

今年の夏は、毎日が猛暑であった。連日の熱帯夜、夜が明ければ炎天下で超猛暑日の繰り返し。しかし、処暑も過ぎ、迷走台風出現頃から、騒がしかったセミの鳴き声がピタと止んだ。命短いセミは自然に忠実なのか、敏感に季節を呼び込むのか。

人間は、暑さに慣れるのか、気温摂氏35℃以上が長く続くと30℃の日が、意外にも涼しく感じる8月末である。未だ々残暑厳しい。

かつての日本の夏は、ひと夏で30℃を超える日は数日、すだれに縁台、扇子と扇風機、蚊帳の中の風情は近年皆無となった。今や日本の夏季は冷房無しではすこせない。地球温暖化のせいであろう異常気象とともに家屋の作りも大きく変わり、窓等を全開放したままで自然の冷風を求めるなど田舎では若干残るが、都市部では現社会の治安環境から過去のものとなった。

さて、地球の真裏、リオデジャネイロでの第31回夏季オリンピック開催。各代表選手になるまでの努力は並大抵ではなからうが、本番でしかも「コンマ以下」の差で勝敗が決まるアスリート達の熱闘、臨場感は一リアルタイムで御茶の間のテレビに映る。これら映像は、日本列島の猛暑を吹き飛ばし、暑気祓いに一役かったのではな

からうか。

大会前、ドーピング問題で騒がしかった今回、以前から問題視されていたものであり、関係者の責任は簡単に免れまい。猛省とその結果は如何に...

スポーツとして純粋な国威発揚ならまだしも他国に自国の力を知らしめる手段、目的とする国は少なくないようだ。種目ごとに選手を国内からかき集め、対象競技を徹底訓練。さらに金メダル獲得の褒美として、破格の金・物を「馬の前に人參をぶら下げる」ごとく示す国。負けて帰国すれば重労働に就かせる国があるとすれば...。彼のクーベルタン男爵の『オリンピックは、参加することに意義がある...』が、遠く彼方で空しく聞こえる。勝負への執着は、競技者として当たり前であるが、国等が関与？計画的薬物使用があったとすれば極めて残念である。

さらに今回、選手村でメダルの祝賀会でドンちゃん騒ぎをして、施設関係者にそのハチャメチャ騒動を注意された外国選手団がいたとも聞く。これらの問題は論外の日本人選手、多くのメダルを勝ち取り、全選手が日本列島に熱気と心身ともに健康なスポーツの真髄を見せてくれた。誇りとともに賛美を贈りたい。

次回の東京オリンピック、パラリンピックは、本来のオリンピック精神で素晴らしいものになるであらう。

「野心と愛は、偉大な行動のための二つの翼だ」

(ゲーテ ドイツの詩人)

8月の会と催し

- ▽1日〓平成28年度市町職員外国語研修会(2日まで)
- ▽4日〓四国四県町村会・町村議会議長会合同事務局長会議
- ▽5日〓第16回四国土砂防災ネットワーク議員連盟総会
- ▽10日〓愛媛県滞納整理機構組合議会、平成28年度第2回愛媛県市町総合事務組合議会定例会、第59回愛媛県公立学校施設整備期成会定例評議員会
- ▽15日〓愛媛県戦没者追悼式
- ▽17日〓9町長と地域の未来をささえる世代との交流会
- ▽18日〓平成28年度総務課長会議
- ▽25日〓有害鳥獣対策に係る担当者研修会、第175回四国地区町村議会議長会会長会
- ▽26日〓平成28年度地方財政に関する研修会

編集後記

先の大戦が終わってから71回目の終戦の日を迎えました。

我が国のこんにちの平和と繁栄は、先人たちの尊い犠牲とたゆまぬ努力により築き上げられたものです。あらためて、あの戦いに散った、あまたの英霊に心からの哀悼と感謝の誠を捧げたいと存じます。

◇
そういえば子どものころに、『戦争が終わって僕らは生まれた』戦争

を知らずに僕は育った』で始まる「戦争を知らない子供たち」という歌が流行りました。

こんにち、戦争を知らない世代が多くなってきましたが、現代に生きる私たちは、二度と悲劇を繰り返すことのないよう、戦争の教訓を次代に語り、平和への強い思いを受け継いでいかなければならないものと、深く心に刻み込んでいます。

◇
リオのオリンピックが始まりました。日本勢が大活躍する中、個人的に最も興奮したのが、男子400リレーです。一人ひとりのタイムではメダルに及ばないレースを、バトンのパスの妙で銀メダルを獲得。日本人の知恵と工夫と努力という底力を感しました。あっぱれニッポン。東京オリンピックが楽しみです。

◇
立秋を過ぎ、秋がそこまで来ています。実りの秋、収穫の秋。昔から秋は、一年で最も重要な時期とされています。

危急存亡の秋(とき)。
緊急事態が目前に迫り、切羽詰まった状態の「とき」に「秋」の字を使うのは、秋は収穫の重要な時期なので、わざと「秋」の字を使って意味合いを強調しているんだそうです。なるほど。

◇
秋と言えはもう一つの「食欲の秋」。これから食べ物が、どんどん美味しくなりますね。

美味しい食べ物はお酒を美味しくします。お酒もまた、食べ物を美味しくするような気がします。

人の世の 楽しみ多し しかれども 酒なしにして 何の楽しみ